

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和7年度中間評価）

基本目標5 認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進

| 評価項目                             | 年間<br>目標値                                                          | 中間<br>実績値 | 数値<br>達成度 | 事務局<br>総合評価 |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|-------------|
| 認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）新規受講者数 | 117人                                                               | 28人       | ×         | C           |
|                                  | R6<br>年間評価                                                         | 0人        | ×         | C           |
|                                  | 目標値には未達。準備や広報等周知の兼ね合いで9月以降の実施が多いため、中間報告では実施済が1地域包括支援センター分の28人となった。 |           |           |             |
| 地域はつらつ講座延べ参加者数                   | 578人                                                               | 116人      | ×         | C           |
|                                  | R6<br>年間評価                                                         | 118人      | ×         | C           |
|                                  | 目標値には未達。既に7回開催されており、今後開催予定のものもある。上半期の参加者数は延べ116人となった。              |           |           |             |

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上 100%未満の達成度合
- △ 50%以上 75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価

C

担当部署評価

認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）新規受講者は、9月以降に各地域包括支援センターにおいて参加者が20名程度あるよう、準備や周知を進めて行く。地域はつらつ講座については、地域包括支援センターごとで開催数が偏るため、実施回数が少ない地域については、地域包括支援センターから地縁団体等に呼びかけるよう働きかけていく。

評価委員会評価

地域包括支援センターの負担について、高齢者のケアプランの作成が増えていること、各教室開催にあたり募集のための周知を図ること等、業務量として増加傾向であることを担当部署に確認した。包括支援センターは様々な事業に関与し大きな負担があるため、今後総合的に事業を見直し、業務の負担軽減について検討してほしい。